

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	安全美化条例に基づく生活環境の改善							款 06	項 01	目 01	事業 005	整理番号	416
現担当課名	環境課			係名		生活環境担当			連絡先 電話番号		3706	昨年度 整理番号	425
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現							予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和54年度	実行計画事業		分野	03	施策	10	計画事業	03				
令和6年度 担当課名	環境課							事業評価区分		一般			

令和6年度 事務事業の概要（Plan）

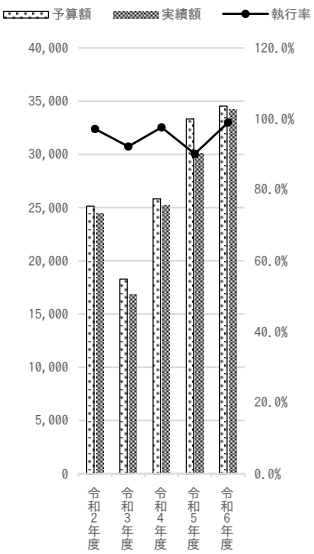
対象	根拠法令等 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例空家等対策の推進に関する特別措置法 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例施行規則空家等対策の推進に関する特別措置法施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○路上喫煙防止パトロールは、指導実績を踏まえ、業務委託による体制を中心に、より効果的・効率的に行うとともに、違反者への過料徴収は、必要に応じて実施できる体制を確保する。 ○区内の公園や道路を自発的に清掃する区民や事業者を支援する。 ○管理不良な空家、こみ屋敷などの所有者に対して適正な管理を指導する。
区民、区内滞在者、区内通過者、区内事業者、区内の公共の場及び公共施設など、土地・建物の所有者及び管理者	
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	
○路上禁煙地区での喫煙行為、区内全域での歩きたばこ・吸い殻のポイ捨てをなくすことを目指す。 ○区内の公共の場などを清掃し区内全域をきれいな状態にする。 ○管理不良な空家、こみ屋敷などをなくし、良好で快適な生活環境を維持する。	

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名			指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	路上喫煙防止指導件数		調査1回当たりの平均値	件	計画	500	500	400	400
					実績	705	498	418	-
					達成率	141.0%	99.6%	104.5%	-
	地域清掃活動参加団体数			団体	計画	100	100	100	100
					実績	64	44	50	-
					達成率	64.0%	44.0%	50.0%	-
成果指標	定点観測（中杉通り、高南通り）による吸い殻のポイ捨て本数			本	計画	18	18	18	18
					実績	20	31	36	-
					達成率	111.1%	172.2%	200.0%	-
	分類	社会成果（課題）指標							
	地域清掃活動参加人数		人	計画	18,000	18,000	10,000	10,000	
				実績	15,013	6,150	6,294	-	
				達成率	83.4%	34.2%	62.9%	-	
分類	社会成果（課題）指標								

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費		千円	予算額	25,138	18,282	25,825	33,331	34,541	75,395
			実績額	24,427	16,860	25,210	30,049	34,191	-
			執行率	97.2%	92.2%	97.6%	90.2%	99.0%	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	21,795	21,258	20,858	20,795	19,564	21,989
			実績額	21,683	23,110	22,625	19,564	24,570	-
			執行率	99.5%	108.7%	108.5%	94.1%	125.6%	-
	上記以外の職員	予算額	10,780	12,698	12,863	12,873	13,325	16,251	
		実績額	12,698	12,863	12,873	13,325	16,251	-	
		執行率	117.8%	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%	-	
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	57,713	52,238	59,546	66,999	67,430	113,635
			実績額	58,808	52,833	60,708	62,938	75,012	-
			執行率	101.9%	101.1%	102.0%	93.9%	111.2%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)		千円	予算額	57,713	52,238	59,546	66,999	67,430	113,635
			実績額	58,808	52,833	60,708	62,938	75,012	-
			執行率	101.9%	101.1%	102.0%	93.9%	111.2%	-

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度は、これまでたばこの煙の漏洩やはみだし喫煙など、課題があった荻窪駅南口公衆喫煙場所をパーテーション構造から分煙を強化したコンテナ型喫煙場所へ改修するため、事業費の予算額が増加しました。
地域清掃活動参加人数は、団体の規模により増減の影響を受けやすく、令和4年度は、小学校などの大規模な参加があったため、例年よりも実績値が高くなりました。

令和6年度 事業実施状況（Ｄｏ）				整理番号	416
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	環境美化巡回指導業務委託	20	人	3,629	
	路面標示補修委託等	215	枚	4,435	
	安全パトロール（路上喫煙）委託	11	人	4,468	
	公衆喫煙場所清掃業務請負	6	所	12,005	
	その他（ 啓発用パンフレット・表示物の購入ほか			）	
取組成果	路上喫煙対策では、警備会社において、2名の指導員が通勤時間帯の6時30分から9時30分の間、区内全域の巡回指導（年末年始及び日曜除く）を行いました。また、環境美化巡回指導では、2名1組で通勤時間帯の7時30分から9時30分の間、路上禁煙地区（6所）とその周辺について、週3回程度の巡回指導を継続的に実施する等、喫煙ルールの普及・啓発に取り組みました。受動喫煙に関する苦情が寄せられている荻窪駅南口公衆喫煙場所については、既存喫煙場所の改修工事を行い、はみ出し喫煙の改善を図りました。 地域清掃活動は、公式ホームページやポスター掲示等を使って、参加を呼びかけたところ、参加者団体数及び参加人数が前年度と同程度となりました。また、ごみ屋敷、樹木繁茂の事案は、所有者に対し、解決に向けた適切な指導等に努め改善を図りました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	喫煙を取り巻く社会環境の変化のほか、外部評価を踏まえた啓発活動や路上喫煙防止指導に努めた結果、全美化条例施行時に比べ、歩きタバコや吸い殻のポイ捨ては大幅に減少しており、喫煙ルールの区民への浸透は進んでいるものと判断しています。一方、喫煙に伴う副流煙や臭い等の望まない受動喫煙に対し、改善を求める苦情は増加傾向にあります。今後も、喫煙者に対して周囲への配慮を求めるとともに警備会社等と密に連携し、巡回パトロールを継続して行うほか、喫煙ルールの普及・啓発に力を入れ、喫煙者・非喫煙者双方にとって暮らしやすい生活環境を確保する必要があります。 区内の道路や公園など公共の場所を自発的に清掃する区民等を増やすことが地域の環境美化の促進につながるため継続的に地域清掃活動を支援していきます。 また、少子高齢化や核家族化の影響により、管理が行き届かない住居等が増加する傾向にあり、今後もこの傾向は続くことが予想されます。所有者の高齢化や課題が複合的で改善に至らない事例が多くあります。粘り強く交渉を重ね、関連部署との連携を強化し、解決に向けた助言・指導などを積極的に行っていきます。
現年度取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談						款 06	項 01	目 01	事業 006	整理番号	417
現担当課名	環境課			係名 生活環境担当			連絡先 電話番号			3706	昨年度 整理番号	426
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現						予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和40年度		分野 03	施策 10	計画事業							
令和6年度 担当課名	環境課						事業評価区分		一般			

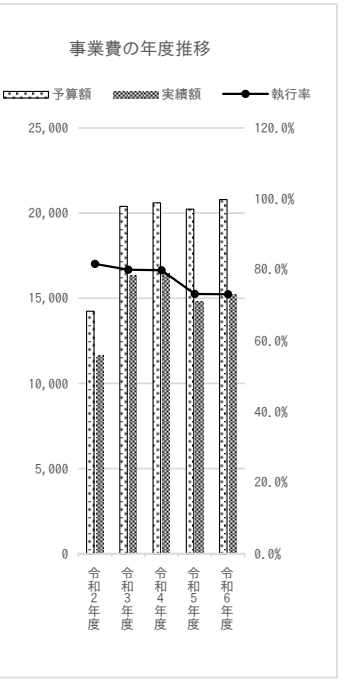
令和6年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
区民、事業者	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 杉並区ねずみ・昆虫・有害鳥獣等防除実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○繁殖期のカラスの巣（卵、ヒナ）や人命に係わるスズメバチの巣は、迅速に対応（撤去など）し、区民の安心・安全を確保する。	○繁殖期に人へ危害を加えるカラスの巣の撤去及びヒナの捕獲、卵の回収を行う。 ○活動期のスズメバチの巣を撤去する。 ○ハクビシンなどの有害鳥獣を捕獲する箱わなの設置・処分を行う。 ○ねずみ・昆虫などの駆除方法の助言等を行う。 ○水害時に直接又は委託により消毒作業を行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	カラスに関する相談件数		件	計画	150	150	100	100
				実績	137	84	100	-
				達成率	91.3%	56.0%	100.0%	-
	蜂に関する相談件数		件	計画	900	900	800	800
				実績	934	792	759	-
達成率				103.8%	88.0%	94.9%	-	
成果指標	カラスの巣の撤去・落下ヒナの捕獲件数	繁殖期のカラスの巣の撤去数・落下ヒナの捕獲件数	件	計画	70	50	30	30
				実績	39	18	17	-
				達成率	55.7%	36.0%	56.7%	-
	分類	社会成果（課題）指標						
	蜂の巣の駆除件数	スズメバチの巣の撤去件数	件	計画	360	360	300	300
				実績	381	246	354	-
				達成率	105.8%	68.3%	118.0%	-
	分類	社会成果（課題）指標						

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
事業費		千円	予算額 14,239 実績額 11,631 執行率 81.7%	20,396 16,327 80.1%	20,601 16,459 79.9%	20,234 14,813 73.2%	20,796 15,207 73.1%	18,528 - -		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額 4,359 実績額 4,337 執行率 99.5%	4,252 4,589 107.9%	4,172 4,492 107.7%	4,159 4,061 97.6%	4,061 4,976 122.5%	4,535 - -		
			上記以外の職員	予算額 1,540 実績額 1,814 執行率 117.8%	1,814 1,838 101.3%	1,838 1,839 100.1%	1,839 1,904 103.5%	1,904 2,322 122.0%	2,322 - -	
				総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額 20,138 実績額 17,782 執行率 88.3%	26,462 22,754 86.0%	26,611 22,790 85.6%	26,232 20,778 79.2%	26,761 22,505 84.1%
	財源	受益者負担分 ①		千円	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 - -
			国・都からの 補助金 ②		千円	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 - -
						その他の 補助金等 ③	千円	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -
特定財源 (①+②+③)		千円		予算額 0 実績額 0 執行率 -				0 0 -	0 0 -	0 0 -
			差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額 20,138 実績額 17,782 執行率 88.3%			26,462 22,754 86.0%	26,611 22,790 85.6%	26,232 20,778 79.2%



特記事項

有害鳥獣の捕獲数は、予測が難しく、結果、カラスの巣の撤去、スズメバチの巣の撤去及びハクビシン等捕獲作業の実績が見込み数に達しなかったことにより執行残が生じました。

令和6年度 事業実施状況（Ｄｏ）				整理番号	417
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	カラスの巣の撤去、落下幼鳥等捕獲作業委託	17	件	823	
	ハクビシン等の有害鳥獣捕獲檻設置、捕獲個体回収処分委託	318	件	5,584	
	スズメバチの巣等撤去作業委託	354	件	8,371	
	その他（ 産業廃棄物（薬品）処理委託、噴霧機器修繕、殺虫剤等の購入			429	
取組成果	繁殖期のカラスの巣の撤去、特定外来生物であるアライグマや外来生物であるハクビシンの捕獲のための箱わなの設置、スズメバチの巣の捕獲等、区民の生活環境の保全や生態系に係る被害の防止・軽減を図りました。なお、カラス、蜂に関する相談及び巣の撤去数は大きく変化していませんが、外来生物であるハクビシン等の捕獲数は減少しました。また、区民等が行う衛生害虫等の自主防除を支援するため、駆除方法の助言や防除機具の貸出し等に取り組みました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	ハクビシンやハチ等が民有地に巣を作ることなどにより人に危害を加えるおそれがある場合に、巣の撤去や箱わなを設置し捕獲・除去等を行っています。自然界にいる動物等が対象のため、生息数の増減等の予測が難しく、また、区民が管理している民有地の樹木などを適切に管理・剪定することで巣を作られにくくすることができず、すべてを防ぐことは困難です。そのため、区民からの巣の撤去や駆除等の要望に対し、委託事業者と連携し、迅速かつ適切に駆除・捕獲を行い、被害の拡大を抑制することで、区民の安全・安心を確保していく必要があります。 ねずみ、蚊などの衛生害虫の発生は、生活環境における衛生上の安全と安心の確保に影響を与えます。害虫は発生の抑制を図ることが被害防止に繋がるため、発生抑制方法などの周知が必要です。また、衛生害虫等の防除方法について適切な助言を行うことや、防除機具の貸し出しを行うなど、区民の自主的な防除の支援が求められます。
現年度取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	ワンウェイプラスチック使用削減に向けた取組の推進						款 06	項 01	目 01	事業 009	整理番号 419
現担当課名	環境課			係名 温暖化対策係			連絡先 電話番号			3732	昨年度 整理番号
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現						予算事業区分		既定事業	
事業開始	令和6年度	実行計画事業		分野 03	施策 10	計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和6年度 担当課名								事業評価区分		一般	

令和6年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
区民、団体、事業者	杉並区リユース容器活用支援助成金交付要綱 杉並区リユース容器貸出事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区・区民・事業者が協力連携し、ワンウェイプラスチックを削減します。	○区立施設へ給水機を設置し、マイボトルの普及啓発を図る。 ○区内イベントでリユース容器を貸し出すことや、テイクアウトの食品を販売している事業者等に対して、リユース容器の活用に必要な経費の一部を助成することで、ワンウェイプラスチック削減の機運を高める。 ○マイバック推進連絡会を開催し、区内学校や団体と連携しながらイベント等でのワンウェイプラスチック削減に向けた啓発活動を行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

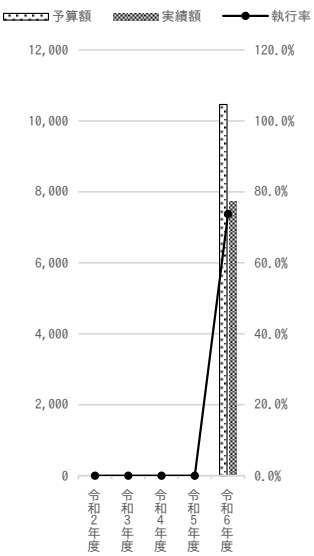
指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ペットボトル（500ml）削減量	給水機の使用量から、ペットボトル（500ml）の削減量を算出しています。	本	計画	-	-	207,000	303,000
				実績	-	-	191,550	-
				達成率	-	-	92.5%	-
	リユース容器貸出イベント数		回	計画	-	-	10	40
				実績	-	-	34	-
				達成率	-	-	340.0%	-
成果指標	二酸化炭素削減量	ペットボトル（500ml）削減量から換算した二酸化炭素削減量	kg-CO ₂	計画	-	-	6,831	9,999
				実績	-	-	6321.1	-
				達成率	-	-	92.5%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	温室効果ガス排出削減量	リユース容器の利用数から換算した温室効果ガス排出削減量	kg-CO ₂ eq	計画	-	-	185	740
				実績	-	-	632	-
				達成率	-	-	341.6%	-
	分類	行政サービス成果指標						

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		千円	予算額	-	-	-	-	10,463	9,361
			実績額	-	-	-	-	7,719	-
			執行率	-	-	-	-	73.8%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	-	-	-	-	-	17,112
			実績額	-	-	-	-	10,244	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	上記以外の職員	千円	予算額	-	-	-	-	-	1,393
			実績額	-	-	-	-	929	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	-	-	-	-	10,463	27,866
			実績額	-	-	-	-	18,892	-
			執行率	-	-	-	-	180.6%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	-	-	-	-	-	-
			実績額	-	-	-	-	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	-	-	-	-	-	-
			実績額	-	-	-	-	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	-	-	-	-	-	2,495
			実績額	-	-	-	-	2,334	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	-	-	-	-	-	2,495
			実績額	-	-	-	-	2,334	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源 （総事業費-特定財源）		千円	予算額	-	-	-	-	10,463	25,371
			実績額	-	-	-	-	16,558	-
			執行率	-	-	-	-	158.3%	-

特記事項

令和6年度から新しく創設された事務事業のため、活動指標と成果指標は6年度からの記載となっています。
成果指標（2）は、リユース容器を50回使用した場合の1回あたりの温室効果ガス排出量と、PSPトレイを一般廃棄物として廃棄する場合の温室効果ガス排出量との比較。なお、貸し出しリユース容器のうち、カップは二酸化炭素削減量を温室効果ガス排出削減量とみなして算出しています。
リユース容器貸出事業の貸出件数は想定を上回りましたが、利用容器数が下回ったことと、リユース容器活用支援助成金の助成件数が想定を下回ったことにより、令和6年度の執行率は73.8%にとどまっています。

事業費の年度推移



令和6年度 事業実施状況（D o）				整理番号	419
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	給水機賃借料	15	台	596	
	リユース容器保管運用業務委託			4,060	
	リユース容器購入			1,621	
	リユース容器活用支援助成	2	件	629	
	その他（ 啓発物品の購入等			） 813	
取組成果	区立施設に新たにボトル対応型給水機を5台（うち1台は冷水機能付きで本庁舎）設置し、設置台数は合計15台となり、マイボトル普及に向けた環境整備に取り組みました。リユース容器貸出事業は、当初目標の10イベントを大きく上回る34イベントで活用され、プラスチック容器を15,610個削減しました。また、リユース容器活用支援助成では2事業者が活用したことで、プラスチック容器を4,156個削減しました。なお、貸出事業においては、リユース容器の返却場所の案内や、返却を促すPOPの作成により、リユース容器の返却率が向上しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	リユース容器の活用によりワンウェイプラスチック使用削減を推進するためには、具体的な取組効果としてCO₂削減への寄与が区民に伝わる必要があります。周知方法を工夫していきます。また、使用後の容器を確実に返却してもらえるように、イベント参加者へ呼びかけるためのPOPや看板を利用者に貸し出すなど、返却率の向上と紛失率の削減に向けた働きかけを引き続き行っていきます。 給水機については、設置施設により使用量に差がある状況であり、目立つようにポスターやステッカーを貼付する等、活用の促進に努めるとともに、使用量については区ホームページで公表していきます。
現年度 の取組成果・予算 執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（Action）

I.事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I.事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II.事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II.事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	公害等防止							款 06	項 01	目 02	事業 001	整理番号	421
現担当課名	環境課				係名	公害対策係			連絡先 電話番号		3713	昨年度 整理番号	429
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現							予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和46年度	実行計画事業		分野 03	施策 10	計画事業 03							
令和6年度 担当課名	環境課							事業評価区分		一般			

令和6年度 事務事業の概要（Plan）

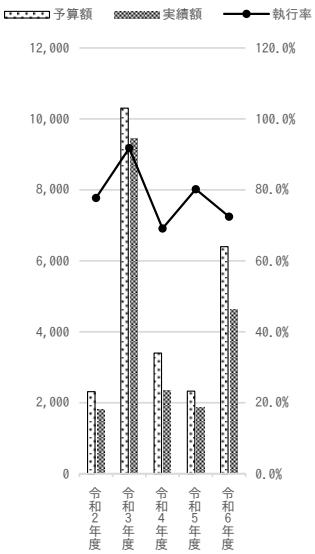
対象	根拠法令等
区民、事業者等	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例） 公害紛争処理法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○騒音、振動、悪臭、大気汚染、土壌汚染等の公害の発生を防ぎ、区民の健康と生活環境を確保する。	○工場、建設解体工事、店舗、住宅等の公害の発生源に対し、法令等に基づき規制・指導を行う。 ○事業者に対し、アスベスト、土壌汚染、地下水汚染、化学物質の適正使用等を指導する。 ○公害に関する苦情・相談に対応する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	立入調査指導数	工場・指定作業場、苦情相談等の現場立入調査数及び指示数の合計	件	計画	350	400	500	700
				実績	518	629	812	-
				達成率	148.0%	157.3%	162.4%	-
	公害苦情相談対応件数	苦情・相談の受理件数	件	計画	200	200	200	250
成果指標				実績	214	213	285	-
				達成率	107.0%	106.5%	142.5%	-
	苦情完結率	苦情完結件数÷苦情件数（当該年度受理数と前年度以前受理未結了数の合計）	%	計画	75	75	75	75
				実績	53	47	40	-
				達成率	70.7%	62.7%	53.3%	-
	分類	社会成果（課題）指標						
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	分類			達成率	-	-	-	-

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		千円	予算額	2,312	10,304	3,400	2,327	6,399	5,126
			実績額	1,797	9,456	2,350	1,866	4,636	-
			執行率	77.7%	91.8%	69.1%	80.2%	72.4%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	24,183	26,166	29,990	33,272	33,484	36,779
			実績額	25,643	27,070	31,682	35,660	37,133	-
			執行率	106.0%	103.5%	105.6%	107.2%	110.9%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	1,814	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	4,643	-
			執行率	-	0.0%	-	-	-	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	26,495	38,284	33,390	35,599	39,883	41,905
			実績額	27,440	36,526	34,032	37,526	46,412	-
			執行率	103.6%	95.4%	101.9%	105.4%	116.4%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	48	48	48	0	0	-
			実績額	17	42	9	0	-	-
			執行率	35.4%	87.5%	18.8%	-	-	-
	① 国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	47,851	54,687	60,037	64,255	66,917	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	② その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	③ 特定財源（①+②+③）	千円	予算額	48	48	48	0	0	-
			実績額	47,868	54,729	60,046	64,255	66,917	-
			執行率	99725.0%	114018.8%	125095.8%	-	-	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）		千円	予算額	26,447	38,236	33,342	35,599	39,883	41,905
			実績額	-20,428	-18,203	-26,014	-26,729	-20,505	-
			執行率	-77.2%	-47.6%	-78.0%	-75.1%	-51.4%	-

事業費の年度推移



特記事項

・事業費：令和6年度より、新規事業である「熱中症対策」予算が「光化学スモッグ注意報等の周知に関する業務」についたため、事業予算増となりました。一方、令和6年度より開始したアスベスト分析調査費補助事業の申請件数が想定を大幅に下回ったこと、さらに同じく6年度より開始した熱中症特別警戒情報事務費残により、執行率が低下しました。

・活動指標（1）：令和4年度右綿システム導入に伴い強化した解体等工事現場への立入調査が増えたこと、また苦情件数が増加した結果、立入調査指導数が増加しました。

・成果指標（1）：例年よりも困難事例が多く継続指導が必要になる事例が増加し、相対的に完結件数が減少したため、苦情完結率が低下しました。

令和6年度 事業実施状況（D o）			整理番号	421
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	公害監視、調査、指導	2,063	件	397
	公害苦情、相談への対応	285	件	867
	光化学スモッグ注意報等の周知	12	回	2,342
	アスベスト対策	2	所	801
	その他（ 公害防止意識の啓発等		）	229
取組成果	都環境確保条例に基づく工場認可をはじめ、特定建設作業等の各種届出を受理し、公害発生の未然防止に努めました。石綿飛散防止対策では、現場への事前立入調査（17件）や建築部局との合同パトロール（3回）解体等工事現場への立入調査（253件）を実施しました。区民等から建築物等の解体等工事による騒音・振動等計285件の苦情相談を受け、現場調査や指導助言等を行い、問題解決に取り組みました。また、光化学スモッグの注意報発令時には、防災無線、学校・保育園等へのFAX送付、懸垂幕の掲出等による周知を行い、健康被害の発生防止に努めました。			

課題の分析、方向性・改善策（C h e c k ・ A c t i o n）

課題の分析	建築物等の解体等工事については、工事に伴う騒音等による苦情が頻繁に発生し、区は迅速な対応が求められます。そのため区は、平成17年に策定した要綱に基づいた解体等工事届出制度を事業者に周知し、事前の届出を促すことが必要です。なお令和6年度は、1,069件の届出を受理し、一定の効果を上げています。区民からの苦情・相談では、建設解体工事に伴う騒音・振動に関する内容が最も多く、その他飲食店等の臭気、近隣の生活騒音等に関する苦情・相談も増加傾向にあります。なお、苦情・相談285件中112件は騒音に関する苦情相談でした。成果指標である苦情完結率は40%と令和5年度実績を下回りましたが、これは継続指導が必要になる事例が増加したことによるものです。短期間で苦情の解決に至るのが困難なケースが多くみられます。大気汚染防止法改正により一層強化されたアスベスト対策では、環境省の石綿システムと区要綱の届出制度を活用し、立入現場を抽出し指導を実施するなど、引き続きアスベストの飛散防止対策の徹底が必要です。令和6年度は石綿システムで4,740件の報告を受理し、253件の解体等現場に立入調査を行いました。また、解体等工事の際、建材に含まれるアスベストの有無について、令和5年10月より有資格者による事前調査が義務付けられたことから、区内建築物所有者の負担軽減を図るとともに、適正な事前調査及びアスベスト除去工事促進のため、令和6年度より杉並区アスベスト分析調査費補助金制度を創設しました。補助金申請の相談は延べ63件受けましたが、交付は1件でした。申請に必要な建築確認関係の書類を用意できないケースが多かったことが原因の一つと考えられました。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（A c t i o n）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	大気や河川水質などの環境実態調査							款	06	項	01	目	02	事業	002	整理番号	422
現担当課名	環境課				係名		公害対策係		連絡先 電話番号			3713		昨年度 整理番号		430	
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現									予算事業区分		既定事業				
事業開始	昭和46年度				分野	03	施策	10	計画事業								
令和6年度 担当課名	環境課									事業評価区分			一般				

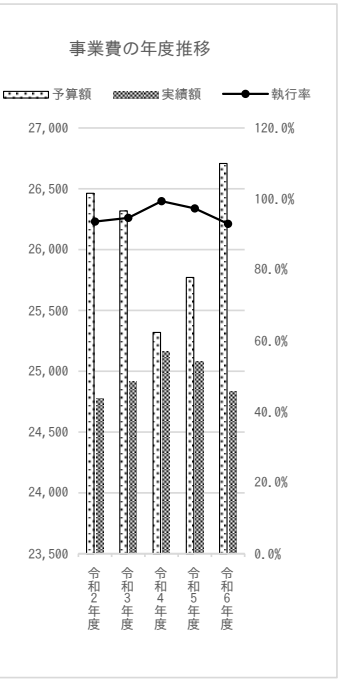
令和6年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
区民、行政（国、東京都、杉並区）	大気汚染防止法水質汚濁防止法 騒音規制法振動規制法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○自動車等に起因する大気汚染や交通騒音、河川の水質汚濁を防ぎ、公害から区民の健康・生活を守る。	○大気中の窒素酸化物、硫黄酸化物、光化学オキシダント等を測定し、大気汚染状況を調査する。 ○道路（環状7号線、環状8号線、青梅街道等）の交通騒音を測定する。 ○河川（神田川、善福寺川、妙正寺川）の水質、河川・大気のダイオキシン類の調査を実施する。 ○空間放射線量を測定する。 ○調査結果を区民、道路管理者（国、東京都、杉並区）等に提供する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	延べ調査地点数	大気汚染、自動車騒音・振動、河川水質等の調査地点合計	地点	計画	139	139	139	138
				実績	139	139	138	-
				達成率	100.0%	100.0%	99.3%	-
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
成果指標	道路交通騒音環境基準達成率	区内道路交通騒音測定箇所（24地点：昼間）における環境基準達成率	%	計画	100	100	100	100
				実績	79.2	79.2	79.2	-
				達成率	79.2%	79.2%	79.2%	-
				計画	70	70	75	75
				実績	69.2	70.3	72	-
分類	社会成果（課題）指標	騒音や排気ガスが少ないと思う人の割合	%	計画	70	70	75	75
				実績	69.2	70.3	72	-
				達成率	98.9%	100.4%	96.0%	-
				計画	70	70	75	75
				実績	69.2	70.3	72	-
分類	区民満足度指標	区民意向調査による	%	計画	70	70	75	75
				実績	69.2	70.3	72	-
				達成率	98.9%	100.4%	96.0%	-
				計画	70	70	75	75
				実績	69.2	70.3	72	-

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		千円	予算額	26,463	26,318	25,319	25,771	26,708	26,177
			実績額	24,773	24,912	25,159	25,081	24,833	-
			執行率	93.6%	94.7%	99.4%	97.3%	93.0%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	24,183	26,166	29,990	38,253	30,236	36,779
			実績額	24,368	25,819	27,190	30,236	30,778	-
			執行率	100.8%	98.7%	90.7%	79.0%	101.8%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	1,814	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	0.0%	-	-	-	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	50,646	54,298	55,309	64,024	56,944	62,956
			実績額	49,141	50,731	52,349	55,317	55,611	-
			執行率	97.0%	93.4%	94.6%	86.4%	97.7%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源 （総事業費-特定財源）		千円	予算額	50,646	54,298	55,309	64,024	56,944	62,956
			実績額	49,141	50,731	52,349	55,317	55,611	-
			執行率	97.0%	93.4%	94.6%	86.4%	97.7%	-



特記事項

- ・活動指標
延べ調査地点数については、令和5年度末で窒素酸化物を測定していた久我山測定局を廃止したため、1減となりました。
- ・事業費
委託契約落差金残に加え、令和5年度末で廃止した久我山測定局の撤去工事および測定器撤去費用の残が影響し、執行率低下につながりました。

令和6年度 事業実施状況（D o）				整理番号	422
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	大気汚染常時測定	3	所	15,198	
	自動車交通騒音振動測定	24	所	3,369	
	自動車排出ガス測定	20	所	3,020	
	ダイオキシン類調査	7	所	2,134	
	その他（ 河川水質調査、空間放射線量率測定			）	
取組成果	大気汚染状況把握のため、区内3か所の測定室での常時監視（窒素酸化物、光化学オキシダント等）や主要幹線道路での自動車排出ガスの測定を実施しました。また交通騒音対策では、測定室のほか国道、都道等幹線道路沿いでの自動車騒音・振動及び鉄道騒音の測定を実施しました。河川の水質は神田川流域の6区合同で一斉調査を年4回実施しました。ダイオキシン類は大気及び河川を調査し、空間放射線量率は区内定点3か所にて測定しました。なお、各種調査結果は、区ホームページ、環境白書等により公表しました。継続して大気汚染状況や自動車交通騒音等を測定し、正確な情報を発信することで、区民の暮らしの安全・安心を確保しています。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	公害が社会問題化した昭和40年代より大気汚染や自動車騒音・振動の調査を開始し、現在は多くの大気汚染物質が環境基準に適合していますが、光化学スモッグの原因となる光化学オキシダントは環境基準未達成であり、横ばいの状況が続いています。発生要因の一つのVOC（揮発性有機化合物）抑制のため、クリーニング店等、化学物質を使用する事業者に対し、より揮発性の低い化学物質への転換や排出量削減を促すとともに、国や都による広域的な政策と連携した取組が必要となります。 また、道路交通騒音は、低騒音舗装、遮音壁の設置、ハイブリッド車や電気自動車の普及により、比較的低下していますが、夜間は走行スピードも速くなる傾向にあるため、環境基準の適合率が低くなる状況が続いています。引き続き東京都などの道路管理者に対し、測定資料の提供や情報交換を通じ、道路騒音・振動の低減に向けた取組が必要となります。河川の水質は改善されていますが、大雨等の影響により一時的に悪化することがあります。 放射能対策では、東日本大震災後の平成23年より空間放射線量率の測定を開始し、現在も継続していますが、測定開始当初と比較して測定結果はほとんど変化はなく、震災前から測定している都内の測定局の震災前の測定値とほぼ同じ数値で安定しています。放射能対策担当者を毎年開催し、現状把握及び意見交換を行い、今後の方針について検討を行っています。
現年度取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	一般廃棄物処理管理事務							款	06	項	01	目	03	事業	001	整理番号	424
現担当課名	ごみ減量対策課				係名		管理係		連絡先電話番号			3723		昨年度整理番号		432	
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現									予算事業区分		既定事業				
事業開始	平成12年度	実行計画事業			分野	03	施策	10	計画事業		02						
令和6年度担当課名	ごみ減量対策課									事業評価区分			一般				

令和6年度 事務事業の概要（Plan）

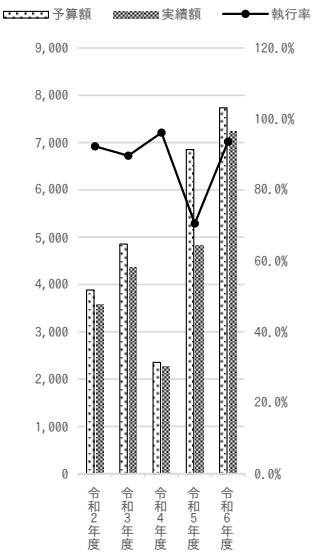
対象	根拠法令等
家庭廃棄物及び事業系一般廃棄物 一般廃棄物処理業者	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○廃棄物の分別状態を適正にし、より円滑な廃棄物処理を可能にしている。 ○一般廃棄物処理基本計画に定めた目標値の達成を目指す。	○適正な排出処理に向けた基盤づくりを行う。 ○一般廃棄物処理業者への助言、指導を行う。 ○「杉並区一般廃棄物処理基本・実施計画」や「ごみ収集作業計画」を策定する。 ○清掃リサイクル事業の基礎データを収集する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名			指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	一般廃棄物処理業者許可（新規・更新）件数			件	計画	113	145	111	147
					実績	102	142	100	-
					達成率	90.3%	97.9%	90.1%	-
					計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	事業系一般廃棄物搬入量（持込ごみ量）		指定処理施設（清掃工場等）への事業系一般廃棄物総搬入量（速報値）	t	計画	25,815	26,242	27,363	27,276
					実績	24,027	24,220	22,466	-
					達成率	93.1%	92.3%	82.1%	-
	分類	行政サービス成果指標							
					計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成率	-	-	-	-
	分類								

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	3,883	4,854	2,353	6,852	7,735	4,092	
		実績額	3,583	4,351	2,262	4,832	7,239	-	
		執行率	92.3%	89.6%	96.1%	70.5%	93.6%	-	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	18,744	17,563	20,734	22,783	18,416	19,251
			実績額	21,853	18,934	23,132	22,576	19,679	-
			執行率	116.6%	107.8%	111.6%	99.1%	106.9%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	308	363	368	368	381	464
			実績額	907	551	368	381	464	-
			執行率	294.5%	151.8%	100.0%	103.5%	121.8%	-
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	22,935	22,780	23,455	30,003	26,532	23,807
			実績額	26,343	23,836	25,762	27,789	27,382	-
			執行率	114.9%	104.6%	109.8%	92.6%	103.2%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	1,176	1,486	1,146	1,466	1,121	1,886
			実績額	1,085	1,450	1,025	1,420	986	-
			執行率	92.3%	97.6%	89.4%	96.9%	88.0%	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	242	0	0	2,312	5,000	0
			実績額	181	0	0	0	3,215	-
			執行率	74.8%	-	-	0.0%	64.3%	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	1,418	1,486	1,146	3,778	6,121	1,886
			実績額	1,266	1,450	1,025	1,420	4,201	-
			執行率	89.3%	97.6%	89.4%	37.6%	68.6%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	21,517	21,294	22,309	26,225	20,411	21,921	
		実績額	25,077	22,386	24,737	26,369	23,181	-	
		執行率	116.5%	105.1%	110.9%	100.5%	113.6%	-	

事業費の年度推移



特記事項

令和6年度 事業実施状況（D o）				整理番号	424
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	家庭ごみ排出状況調査			5,371	
	廃棄物情報管理システム維持管理			822	
	全国都市清掃会議負担金等の支出			388	
	その他（ 需用費等			658	
取組成果	廃棄物の分別状況の確認やリサイクル事業の基礎資料の収集のため、家庭ごみ排出状況調査を実施しました。また、令和6年10月に開始したプラスチック使用製品廃棄物分別回収について、モデル実施の状況より、令和8年度から区内全域で実施することが可能と判断し、実行計画の改定を行いました。一般廃棄物処理業者に対しては、法令に従って適正に廃棄物処理が行われていることの確認を行うとともに、必要に応じて助言や指導を実施しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	家庭ごみ排出状況調査を基に、令和6年10月から開始したプラスチック使用製品廃棄物分別回収のモデル実施を検証した結果、当初の予測よりモデル地域におけるプラスチック使用製品廃棄物の排出量が少ないことが判明し、可燃ごみにプラスチック使用製品が混入していること等が理由に挙げられます。令和8年度から実施する区内全域実施に向け、更なるごみ減量を実現するため、分別方法の周知・徹底について、区民に対して積極的に呼びかけていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	ごみの減量と資源化の推進							款 06	項 01	目 03	事業 002	整理番号	425
現担当課名	ごみ減量対策課				係名		事業計画係		連絡先 電話番号		3725	昨年度 整理番号	433
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現							予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成13年度	実行計画事業		分野 03	施策 10	計画事業 01 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和6年度 担当課名	ごみ減量対策課							事業評価区分		一般			

令和6年度 事務事業の概要（Plan）

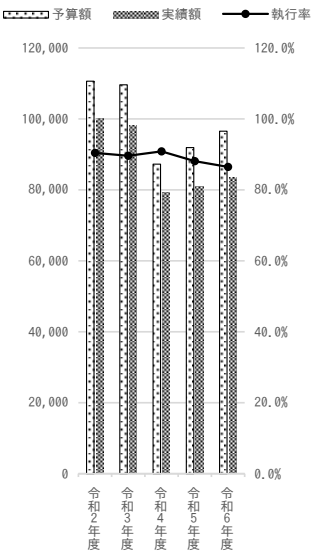
対象	根拠法令等
区民・事業者・産業団体等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 循環型社会形成推進基本法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高めつつ、ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。 ○区民、事業者等との協働により普及啓発、生活雑貨などのリユースや集団回収への取組を進め、ごみの発生抑制とリサイクルの意識を高める。	○ごみの減量を推進するため、「ごみと資源の分け方・出し方 収集カレンダー」など各種啓発物の発行や小学校等への環境学習により啓発活動を行う。 ○資源の集団回収団体に対し報奨金・支援物品を支給する。 ○資源化を推進するため、廃食用油、小型家電15品目等を拠点回収し、希少金属等を再資源化業者に引き渡す。 ○生ごみの減量のため、家庭用生ごみ処理機購入費の助成をする。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	啓発物（パンフレット、冊子）延べ配布部数	食べのこし0（ゼロ）応援店ポスター・チラシ等配布数	枚	計画	150	150	150	100
				実績	190	127	97	-
				達成率	126.7%	84.7%	64.7%	-
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			達成率	-	-	-	-	
成果指標	食べのこし0（ゼロ）応援店登録店舗	既存登録店舗＋新規登録店舗－閉店店舗	件	計画	605	795	922	1,007
				実績	815	942	930	-
				達成率	134.7%	118.5%	100.9%	-
	分類	社会成果（課題）指標						
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
分類								

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費		千円	予算額	110,635	109,618	87,252	91,917	96,541	110,511
			実績額	100,038	98,230	79,271	80,977	83,484	-
			執行率	90.4%	89.6%	90.9%	88.1%	86.5%	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	40,975	49,352	44,454	94,155	86,320	96,854
			実績額	43,705	54,728	95,654	94,801	94,284	-
			執行率	106.7%	110.9%	215.2%	100.7%	109.2%	-
	上記以外の職員		予算額	4,004	5,623	7,901	7,724	11,802	9,750
			実績額	5,986	5,880	7,908	7,995	14,393	-
			執行率	149.5%	104.6%	100.1%	103.5%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	155,614	164,593	139,607	193,796	194,663	217,115
			実績額	149,729	158,838	182,833	183,773	192,161	-
			執行率	96.2%	96.5%	131.0%	94.8%	98.7%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	2,471	1,320	789	451	0	1,114
			実績額	2,346	660	377	259	1,113	-
			執行率	94.9%	50.0%	47.8%	57.4%	-	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	2,471	1,320	789	451	0	1,114
			実績額	2,346	660	377	259	1,113	-
			執行率	94.9%	50.0%	47.8%	57.4%	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	153,143	163,273	138,818	193,345	194,663	216,001	
		実績額	147,383	158,178	182,456	183,514	191,048	-	
		執行率	96.2%	96.9%	131.4%	94.9%	98.1%	-	

事業費の年度推移



特記事項

外部評価委員会の指摘により成果指標を「食べのこし0（ゼロ）応援店登録件数」に変更しました。
また、令和5年度予算執行率が90%を下回った主な理由は、集団回収の資源回収量減により、報奨金支払額が当初の予定より下回ったためです。

令和6年度 事業実施状況（Ｄｏ）				整理番号	425
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	「ごみと資源の分け方・出し方 収集カレンダー」の発行	410,000	部	15,422	
	集団回収団体報奨金の支払	422	団体	23,077	
	小型家電の選別・分解等業務委託			1,498	
	その他（ 廃食用油資源化の委託料、食品ロス削減委託料ほか			）	43,487
取組成果	全戸配布している「ごみと資源の分け方・出し方」により、資源の分別方法をわかりやすく周知することで、ごみの分別が進み、ごみの減量と資源化につながりました。また、食品ロス削減の取組では、清掃情報誌や区ホームページでの周知を継続的に行った結果、フードドライブに提供された食品が10,641個となり、さらに、食べ残しの持ち帰りを啓発する「mottECO（モッテコ）普及推進モデル事業」を127店舗で実施するなどの取組により、合計で5.1t以上の食品ロス削減につながりました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	毎年全戸配布している「ごみと資源の分け方・出し方 収集カレンダー」を活用し、ごみと資源の発生抑制や、適正分別、資源化の推進を周知・啓発しています。プラスチック使用製品廃棄物の新たな分別回収の着実な実施に向け、分別の重要性を周知する手段の一つとして、環境情報誌「ごみバックン」では「プラスチックを知らう！」をテーマに記事を連載することで、より理解が深まるように努めました。また、不要な買い物をしないなど、区民一人ひとりができる取組が浸透し、フードドライブの受付量は減少しています。なお、ごみ収集量が年々減少傾向となっていますが、引き続き経年変化を検証していく必要があります。 「食べ残し0（ゼロ）応援店」は930店舗に達し、フードシェアリングサービス「TABETE」への登録は94店舗となり、各事業の登録店舗は着実に増加しています。また、食品ロスの削減効果を具体的に検証していくため、「食べ残し0（ゼロ）応援店」のうち127店舗で「mottECO普及推進モデル事業」を実施した結果、削減量が、令和5年度より大幅に増加し、約330kgに達しました。今年度もこれらの事業を継続するとともに、認知度をより向上させていきます。さらに、学校法人と連携した「親子クッキング教室」及び農福連携農園・保健所と連携した「食品ロス削減講座」といった、実践的な手法を用いた啓発活動にも取り組みながら、連携先の拡充について引き続き検討・調整を行っていきます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	ごみ・し尿の収集・運搬						款 06	項 01	目 03	事業 003	整理番号	426
現担当課名	ごみ減量対策課				係名 事業計画係		連絡先 電話番号		3725	昨年度 整理番号	434	
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現						予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成12年度	実行計画事業		分野 03	施策 10	計画事業 02						
令和6年度 担当課名	ごみ減量対策課						事業評価区分		一般			

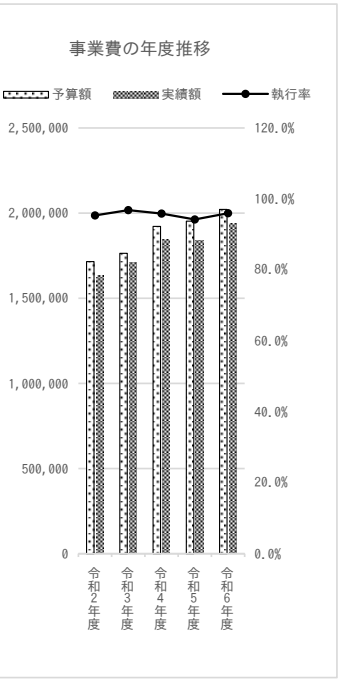
令和6年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
○区内一般家庭 ○事業者（排出日量50kg未満）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬する。 ○区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図る。 ○収集した粗大ごみ・不燃ごみを中継車に積み替えて運搬車両台数を減らし、運搬コストを削減する。	○区民等が分別し排出した可燃ごみは杉並清掃工場等へ、不燃ごみは中継所に搬入する。 ○粗大ごみは、受付、収集・運搬を委託により実施する。 ○中継所に搬入された不燃ごみ・粗大ごみは、金属やその他ごみに選別した後の中継車に積み替え、適正処理施設へ搬出する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ごみ（可燃、不燃、粗大）収集量		t	計画	97,230	95,667	94,227	93,928
				実績	94,112	90,362	89,161	-
				達成率	96.8%	94.5%	94.6%	-
	粗大ごみの収集点数		点	計画	500,000	505,000	510,000	515,000
				実績	510,029	566,006	527,598	-
達成率				102.0%	112.1%	103.5%	-	
成果指標	1t 当たりのごみ・し尿収集運搬コスト	ごみ・し尿収集運搬コスト（事業費）÷区収集ごみ量	円	計画	19,767	20,413	21,567	22,050
	実績			19,575	20,338	21,808	-	
	達成率			99.0%	99.6%	101.1%	-	
	分類	行政サービス成果指標						
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	分類			達成率	-	-	-	-

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		千円	予算額	1,715,257	1,763,917	1,921,964	1,952,809	2,021,749	2,071,203
			実績額	1,635,431	1,708,225	1,842,585	1,839,746	1,940,316	-
			執行率	95.3%	96.8%	95.9%	94.2%	96.0%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	1,114,974	1,021,849	913,389	940,549	918,794	938,921
			実績額	1,162,569	957,794	971,380	953,071	953,168	-
			執行率	104.3%	93.7%	106.3%	101.3%	103.7%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	0	1,838	1,839	1,904	2,322
			実績額	0	0	1,839	1,904	2,322	-
			執行率	-	-	100.1%	103.5%	122.0%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	2,830,231	2,785,766	2,837,191	2,895,197	2,942,447	3,012,446
			実績額	2,798,000	2,666,019	2,815,804	2,794,721	2,895,806	-
			執行率	98.9%	95.7%	99.2%	96.5%	98.4%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	428,185	448,795	439,848	444,360	475,194	486,902
			実績額	398,459	419,921	411,159	423,749	475,992	-
			執行率	93.1%	93.6%	93.5%	95.4%	100.2%	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	428,185	448,795	439,848	444,360	475,194	486,902
			実績額	398,459	419,921	411,159	423,749	475,992	-
			執行率	93.1%	93.6%	93.5%	95.4%	100.2%	-
差引： 一般財源 （総事業費-特定財源）		千円	予算額	2,402,046	2,336,971	2,397,343	2,450,837	2,467,253	2,525,544
			実績額	2,399,541	2,246,098	2,404,645	2,370,972	2,419,814	-
			執行率	99.9%	96.1%	100.3%	96.7%	98.1%	-



特記事項

--

令和6年度 事業実施状況（D○）				整理番号	426			
主な取組	内 容			規模	単位	事業費（千円）		
	収集・運搬車両借上（可燃・不燃）					1,091,451		
	粗大ごみの収集・運搬委託					340,189		
	粗大ごみの中継車両借上					108,393		
	粗大ごみ・不燃ごみ中継業務委託					166,176		
	その他（ 賃借料・委託料・消耗品購入ほか			）		234,107		
取組成果	可燃ごみ量	平成12年度	108,401t	⇒	令和6年度	83,449t	対平成12年度比	約23%減
	不燃ごみ量	平成12年度	25,288t	⇒	令和6年度	2,212t	対平成12年度比	約91%減
	粗大ごみ量	平成12年度	4,919t	⇒	令和6年度	3,202t	対平成12年度比	約35%減
	総 計	平成12年度	138,608t	⇒	令和6年度	88,863t	対平成12年度比	約36%減

課題の分析、方向性・改善策（C h e c k ・ A c t i o n）

課題の分析	可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの量は、年々減少傾向にあります。区におけるごみ削減の取組の推進のほか、社会情勢の変化が生活様式や生活習慣、ごみ量に影響することから、引き続き、ごみに関する種別・量の変化を検証する必要があります。 また、令和6年度の取組として、複数のリユースショップから買取価格を比較し、売却できるリユースプラットフォームを運営する事業者と令和6年12月に協定を締結し、更なるごみの減量と資源化を推進しています。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（A c t i o n）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	資源の回収						款 06	項 01	目 03	事業 004	整理番号	427
現担当課名	ごみ減量対策課				係名		事業計画係		連絡先 電話番号	3725	昨年度 整理番号	435
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現							予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成11年度	実行計画事業		分野 03	施策 10	計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度 担当課名	ごみ減量対策課							事業評価区分		一般		

令和6年度 事務事業の概要（Plan）

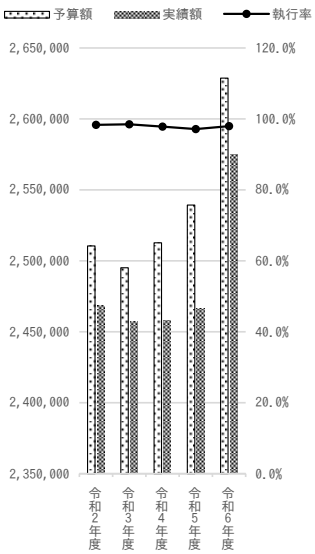
対象	根拠法令等
資源の排出者	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○再商品化が可能な古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装を分別収集することにより、ごみの減量と貴重な資源の回収を推進する。	○ごみ・資源の集積所に排出された資源（古紙・びん・かん・ペットボトル・プラスチック製容器包装）を回収し、資源化中間処理施設に搬入する。資源化中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化工場に引き渡し、再商品化する。 ○資源の持ち去り対策として、早朝回収やパトロールを実施する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	資源回収量（行政回収分）		t	計画	39,714	39,075	38,487	38,364
				実績	30,535	28,982	28,305	-
				達成率	76.9%	74.2%	73.5%	-
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			達成率	-	-	-	-	
成果指標	資源回収率（資源回収量に小型家電・金属の回収量は含まない）	資源回収量（行政回収分）÷【区収集ごみ量＋資源回収量（行政回収分）】	%	計画	29	29	29	29
				実績	24.5	24.3	24.2	-
				達成率	84.5%	83.8%	83.4%	-
	分類	行政サービス成果指標						
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
分類								

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		千円	予算額	2,510,502	2,495,114	2,512,702	2,539,306	2,628,754	2,710,970
			実績額	2,468,533	2,457,304	2,458,137	2,466,599	2,575,257	-
			執行率	98.3%	98.5%	97.8%	97.1%	98.0%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	35,308	34,437	34,195	79,932	89,098	80,940
			実績額	35,713	35,458	88,750	80,435	93,082	-
			執行率	101.1%	103.0%	259.5%	100.6%	104.5%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	1,540	0	1,838	1,839	1,904	2,322
			実績額	1,814	0	1,839	1,904	2,322	-
			執行率	117.8%	-	100.1%	103.5%	122.0%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	2,547,350	2,529,551	2,548,735	2,621,077	2,719,756	2,794,232
			実績額	2,506,060	2,492,762	2,548,726	2,548,938	2,670,661	-
			執行率	98.4%	98.5%	100.0%	97.2%	98.2%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	46,000	45,000	35,198	43,000	44,000	43,000
			実績額	38,151	47,928	33,065	42,061	41,211	-
			執行率	82.9%	106.5%	93.9%	97.8%	93.7%	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	46,000	45,000	35,198	43,000	44,000	43,000
			実績額	38,151	47,928	33,065	42,061	41,211	-
			執行率	82.9%	106.5%	93.9%	97.8%	93.7%	-
差引： 一般財源 （総事業費-特定財源）		千円	予算額	2,501,350	2,484,551	2,513,537	2,578,077	2,675,756	2,751,232
			実績額	2,467,909	2,444,834	2,515,661	2,506,877	2,629,450	-
			執行率	98.7%	98.4%	100.1%	97.2%	98.3%	-

事業費の年度推移



特記事項

令和6年度 事業実施状況（D o）			整理番号	427
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	古紙・びん・缶の回収業務委託			930,032
	ペットボトルの回収・中継・搬送業務委託			397,526
	プラスチック製容器包装回収業務委託			601,329
	資源化中間処理委託			632,656
	その他（ 委託料・消耗品購入ほか ）			13,714
取組成果	古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装については、回収し、資源化中間処理施設での選別、圧縮等の工程を経た後、再商品化工場において資源化を図りました。 また、ペットボトルの更なる資源循環を図るため、ケミカルリサイクルによるボトルtoボトルが可能な事業者と引き続き契約し、繰り返しペットボトルとして循環する取組を進めました。 このほか、令和6年度は杉並清掃工場の環境フェアでパネル展示と、全世代に向けたリサイクルの技術や仕組みを遊びながら学べるボードゲーム「リサイコロ」の実施を通じ、資源化の取組を周知しました。 なお、プラスチック使用製品廃棄物の分別回収については、令和6年10月から区内の一部地域でモデル実施を開始するとともに、令和8年度からの区内全域での実施に向けた準備を進めました。			

課題の分析、方向性・改善策（C h e c k ・ A c t i o n）

課題の分析	ライフスタイルの変容や企業における環境配慮の取組などもあり、古紙・びん・かんは減少傾向、プラスチック製容器包装は微減、ペットボトルは増加傾向にあります。 令和6年10月から実施しているプラスチック使用製品廃棄物の分別回収モデル地域において、大きな混乱は見られず、令和8年4月から区内全域での分別回収を実施します。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（A c t i o n）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	ごみ・資源の排出の適正管理							款 06	項 01	目 03	事業 005	整理番号	428
現担当課名	杉並清掃事務所				係名	管理係		連絡先 電話番号		3392-7281	昨年度 整理番号	436	
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現							予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成12年度	実行計画事業		分野 03	施策 10	計画事業 04							
令和6年度 担当課名	杉並清掃事務所							事業評価区分		一般			

令和6年度 事務事業の概要（Plan）

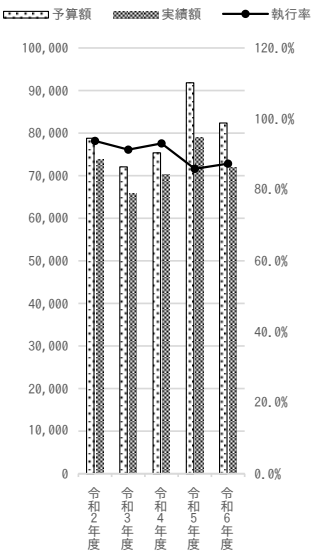
対象	根拠法令等
区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○ごみの分別の徹底を働きかけ、資源化を促進するとともにカラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策で、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。 ○区の収集を利用する事業主に対し、適正なごみ処理券の貼付を働きかけることで、負担の公平性を確保する。	○事業活動に伴って出たごみ・資源を区の収集に出す事業者に対し、適正な事業系有料ごみ処理券を貼付するよう調査・指導する。 ○ごみ排出の適正化指導、環境学習の推進、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	直接又は文書による排出指導件数		件	計画	1,200	1,200	1,200	1,200
				実績	221	715	420	-
				達成率	18.4%	59.6%	35.0%	-
	折り畳み式防鳥ボックスの配布数		個	計画	1,400	1,400	1,400	1,400
				実績	816	667	545	-
達成率				58.3%	47.6%	38.9%	-	
成果指標	事業系有料ごみ処理券収入済額		千円	計画	172,071	189,804	199,667	202,789
				実績	167,989	177,385	183,774	-
				達成率	97.6%	93.5%	92.0%	-
	分類	行政サービス成果指標						
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
分類								

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		千円	予算額	78,793	72,073	75,371	91,824	82,376	84,334
			実績額	73,907	65,830	70,167	78,906	71,993	-
			執行率	93.8%	91.3%	93.1%	85.9%	87.4%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	433,563	407,494	384,228	243,185	255,714	255,240
			実績額	451,273	413,818	247,846	246,817	264,565	-
			執行率	104.1%	101.6%	64.5%	101.5%	103.5%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	1,848	4,898	2,756	2,942	3,046	3,714
			実績額	1,887	4,594	2,759	3,046	3,714	-
			執行率	102.1%	93.8%	100.1%	103.5%	121.9%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	514,204	484,465	462,355	337,951	341,136	343,288
			実績額	527,067	484,242	320,772	328,769	340,272	-
			執行率	102.5%	100.0%	69.4%	97.3%	99.7%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	58,321	35,592	35,198	43,846	12,848	11,654
			実績額	55,037	33,524	33,065	42,250	12,645	-
			執行率	94.4%	94.2%	93.9%	96.4%	98.4%	-
	国・都からの 補助金	千円	予算額	246	200	214	217	224	204
			実績額	163	242	199	194	104	-
			執行率	66.3%	121.0%	93.0%	89.4%	46.4%	-
	その他の 補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	58,567	35,792	35,412	44,063	13,072	11,858
			実績額	55,200	33,766	33,264	42,444	12,749	-
			執行率	94.3%	94.3%	93.9%	96.3%	97.5%	-
	差引： 一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	455,637	448,673	426,943	293,888	328,064	331,430
			実績額	471,867	450,476	287,508	286,325	327,523	-
			執行率	103.6%	100.4%	67.3%	97.4%	99.8%	-

事業費の年度推移



特記事項

予算執行率90%未満の理由については、主に「カラス対策経費や適正排出普及啓発用消耗品などの需用費残」及び「ごみ出しアプリ事務処理委託費残」によるものです。

令和6年度 事業実施状況（D○）				整理番号	428
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	有料ごみ処理券印刷実績	1,885,100	枚	11,835	
	動物死体処理委託	411	頭	1,266	
	折り畳み式防鳥用用ボックス545基、カラスネット1,051枚の配布			34,100	
	ごみ処理券徴収委託	282	店	18,987	
	その他（ 大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか			）	
取組成果	カラスネット及び折り畳み防鳥用ボックスを希望する集積所利用者へ配布したことにより、ごみの散乱防止や集積所の衛生管理の保持とともに、まちの美観保持にもつながる取り組みとなりました。また、ごみの減量や分別、資源化などの理解を深めるため、環境学習を46回実施しました。特に小・中学校においては、学習内容を見直し、楽しむだけで留まらないよう、子供たちだけで話し合い、グループ発表や発言する機会を設け、より理解を深めました。更に、リサイクルに親しみ、興味を持つきっかけとなるよう、清掃職員が考案したキャラクター「りさいくるず♻」を制作し、ごみ・資源の適切な排出について意識の向上を図りました。このほか、有料ごみ処理券未貼付事業者等への排出指導を引き続き実施し、適正な排出について区民等への啓発に努めました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	集積所のカラス等によるごみ散乱防止やまちの美観保持には、折り畳み防鳥用ボックスの設置が有効な手段となっています。しかし近年は、生活形態の多様化や地域社会におけるコミュニケーションの希薄化から、集積所の分散化が進み、少数世帯での集積所利用が増える傾向にあることや、ボックスの設置を希望する世帯に対しての配布が概ね完了したことから、折り畳み防鳥用ボックスの新たな配布数は、減少しています。単身高齢者を対象とした「ふれあい収集」は、安否確認など福祉的な側面からも評価されており、高齢者人口の増加等によりニーズが高くなっています。今後は、的確なサービス提供などのため、対象者に対し定期的な現状確認を行う等、適正な運用が求められます。また、ごみの収集に関して、業務の効率化や職員の負担軽減、区民サービスの向上を図るためには、清掃事業のデジタル化の取組が不可欠であることから、清掃事業の運営支援システムや粗大ごみの電子決済サービスの導入など、他自治体におけるデジタル化の情報収集を行いながら進めていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力